

3学期終業式校長講話～「私は私の主人公」

47日間の三学期もいよいよ終わりを迎えました。

三学期では、学習面や生活面、生徒会活動、部活動では、「先輩たちがやったことを、また私たちもやりたい」というあこがれの連鎖を意識した姿が多く見られました。よりよい、安心して安全に楽しく学校生活が過ごせる第六中学校を「自分たちで」「自分で」育てていく「あこがれの連鎖」が溢れる第六中学校になってきています。

今、各学年の生徒代表の発表がありました。皆さんも一人一人成果と課題があることでしょう。頑張った自分をほめ、できなかったことは来年度、必ずやり遂げられるように最後まであきらめずに臨みましょう。

さて、明日はいよいよ卒業式です。

今日は私の好きな先生の詩を紹介します。

卒業する3年生の皆さんがそれぞれ自分に合った人生を歩み出してくれることと在校生である1,2年生が来年さらに素晴らしい成果を上げてくれることを願いながら詩を朗読します。

詩を作った先生は、東井義雄先生と言います 1912年生まれで兵庫県出身の先生です。紹介するのは東井義雄先生の「人生の詩(うた)」という冊子に収められている東井先生が卒業生に送られた詩です。では、聞いてください。



東井 義雄『人生の詩(うた)』より

著作権により
掲載を控えさせていただきます。



思えば、生まれた時たくさんの家族に待ち望まれて喜ばれたことでしょう。赤ちゃんが生まれるということはお母さんにとっても一生忘れられない一大行事です。その後も家族に見守られ、愛されてこれまで生きてきたはずです。

ここにいる皆さんは、本当に自分がやってみたいことに挑戦してください。時々失敗もするかもしれませんが、その時に「自分の事なんだから何をしたらいいじゃないか」などとやけになってしまうこともあるかもしれません。

でも、失敗できる人は幸せ者です。そうは思いませんか？

なぜなら、何かに挑戦した人でないと失敗もできません。若いうちにたくさん失敗して、やがて自分なりに「生きてきてよかった」と思える日を迎えてください。必ずや皆さんは「自分の人生の主人公」なのですから。応援しています。

○保護者の皆さま、1年間ありがとうございました！上田 UCV 卒業式の TV 放送を

ご覧ください。*3月20日(水)地上デジタル121 ①9:30~ ②22:30~